

時系列的にみた災害情報と宮城県石巻市私立幼稚園の動向

時刻	気象庁	防災行政無線	NHK ラジオ	石巻コミュニティラジオ	東北放送ラジオ	幼稚園の対応
Pm 2:46 2:48 2:49	発災 2:49 6m以上の大津波警報発令	2:48 「大地震発生、津波の恐れがありますので、沿岸や河口付近から離れて下さい」のアナウンスが2分おきに	2:49 仙台放送局 宮城県北部で震度7、宮城県中部で震度6強を放送	2:46 地震により停波 2:48 放送再開	緊急地震速報放送 地震発生の放送 震度情報6強を放送	2:46 55名が在園 (45名の園児が既に帰宅) 55名の園児…12名が小さいバスで送迎 20名が大きいバスで送迎 23名が預かり保育で在園
2:50				2:50 大津波警報発令放送	2:50 震度7の追加情報と津波到達予想時間午後3時の大津波警報発令放送	
2:51			2:51~3:08 宮城・岩手・福島沿岸に大津波警報の発令を9回		2:51 津波型3m以上と予測	
2:52					2:52 津波高6m以上と予測	
2:55					2:55 「時間がありません。直ちに高台に避難してください」と毎分避難の呼びかけを放送	
3:00						3:00 過頃 「園児らをバスで帰せ」という園長からの指示
3:01			宮城県への津波到達予想時刻が午後3時であることを12回ラジオで放送	3:01 津波6m到達予想時刻午後3時であることを放送		
3:02			海岸や川の河口付近には絶対に近づかないこと、早く安全な高いところ			3:02 高台にある幼稚園から海側に向けてバスが発発 事務長が園内の園児らの様子を確認したり地震発生直後の教諭らの保育業務等を支援することはなかった (大きいバスの運転手は、バス内のラジオで大津波警報に関する放送を聞いたことや道路の渋滞が始まっていたことから幼稚園へ引き返す 3:10 過ぎバスが戻る) 園長は、バス出発後、防災無線放送により大津波警報が発令されていることを知ったが、高台から海側に下りて行った小さいバスの運転手に対して大津波警報を伝え高台に戻るようとの連絡をしようとしなかった

<p>3:10</p> <p>3:14</p> <p>3:20</p> <p>3:26</p> <p>3:45頃</p>	<p>3:14 10m以上の大津波警報発令</p> <p>3:26 石巻市鮎川8.6m以上の最大津波を観測</p>	<p>3時20分～5時までは上記放送を3分おきに発信</p>	<p>ろに避難することを14回放送</p>	<p>3:10まで地震規模マグニチュード7.9で宮城県北部の震度が7、大津波警報発令中などを繰り返し放送</p>		<p>3:10 (事件のあった) 小さいバスの運転手は、自宅でバスの送迎を待っている保護者がいるかもしれないと考え、通常の送迎ルートを走行 園児2名の自宅に順次到着したが、いずれも自宅は不在であったため園児を引き渡すことができなかった 指定避難場所とされていた門脇小学校に向かい停車</p> <p>小さいバスが門脇小学校に停車していることを教諭から報告を受けた園長は、教諭らに「バスを上げろ」と言い、教諭らに徒歩で門脇小学校まで行って小さいバスを幼稚園に戻すことを伝えるよう指示</p> <p>園長は、2名の教諭に対し、大津波警報が発令されていることを伝えなかった</p> <p>その間、小さいバスに乗っていた10名のうち3名の保護者が園児らを迎えに来たので園児3名を引き渡す</p> <p>2名の教諭から幼稚園に戻るよう園長からの指示を伝えられた運転手は、園児7名と添乗員を乗せたまま幼稚園に戻ろうとした</p> <p>心配した保護者が渋滞に巻き込まれて停車している小さいバスを見つけ、娘ら2名を下車させ引き取る(園児5名と運転手そして運転手の妻である添乗員の計7名が残る)</p> <p>3:45 石巻市南浜地区に津波が到着</p> <p>小さいバスに乗っていた5名の園児と添乗員が死亡 運転手は津波により破れた窓から車外に押し出され民家の屋根に乗った状態で助かる</p> <p style="text-align: right;">※地震発生から約60分後津波被災</p>
--	---	--------------------------------	-----------------------	--	--	---